

交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会  
東京圏における今後の都市鉄道のあり方に関する小委員会（第18回）  
議事概要

1. 日時：平成28年2月24日（水）10：00～12：00
2. 場所：金融庁（中央合同庁舎7号館）13階 共用第1特別会議室
3. 出席委員（敬称略）：家田仁、伊藤香織、岩倉成志、加藤浩徳、岸井隆幸、竹内健蔵、富井規雄、羽藤英二、村木美貴、山内弘隆
4. 委員からの主な意見：

（1）次期答申のスケルトンについて

- ・ 鉄道輸送需要の将来想定を記載するのであれば、駅利用者数の将来想定についても答申に記載した方がよい。
- ・ 答申に関連する計画や答申が前提とすべき計画について答申に記載した方がよい。
- ・ 各章ごとの文章の整合性も大事であるが、答申が国民にどのように見えるかといった観点も重要である。
- ・ 運輸政策審議会答申第18号で今後対応すべきとして位置づけられた「都市構造・機能の再編整備等への対応」のフォローアップを行うにあたっては、都心部のみならず郊外部についても着目した方がよい。
- ・ PDCAサイクルを回すといったことや、答申のフォローアップを行うといった点も答申に記載した方がよい。

（2）提案のあったプロジェクトについて

- ・ 各プロジェクトにどのような社会的経済効果があるかといったことをプロジェクトごとに分析することも重要であるが、プロジェクトを全体で一覧してみて、プロジェクトごとの分析が本当に妥当であるかどうかをチェックすることも重要である。
- ・ 駅をまちの顔ととらえ、駅空間の質の向上を図ることも重要ではないか。

以上